

令和3年度第1回

幕別町6次産業化・地産地消推進協議会

令和4年3月28日（月）

幕別町役場3階3AB会議室

# 議 事 録

幕別町経済部農林課農政係

令和3年度第1回  
幕別町6次産業化・地産地消推進協議会

議事日程

(令和4年3月28日(月)午前10時00分開会)

1 開 会

2 議 件

議案第1号 幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について

3 その他

4 閉 会

# 議 事 録

令和3年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会

- 1 日 時 令和4年3月28日（月）午前10時00分～午前10時30分
- 2 場 所 幕別町役場3階3AB会議室
- 3 出席者 （16名）下山 一志、鈴木 雅則、田中 洋人、角田 征男、太刀野 真  
藤原 昇、牛腸 健司、折笠 健、小笠原 保、岩谷 史人  
仲島 亮介、宮森 秀樹、橋坂 英樹、香田 裕一、高橋 宏邦  
鯨岡 健
- 4 欠席者 （2名）福田 隆行、西嶋 慎
- 5 事務局 農政係長 小野 敦、産業振興係長 広田 瑞恵  
農政係主査 今城 和智、農政係主任 高田 麻菜美

## 議 事 の 経 過

(10:00開会)

(事務局 小野)

定刻となりましたので、これより、令和3年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会を開会いたします。

私、協議会の事務局であります農林課農政係長の小野と申します。

よろしくお願いいたします。

本日、福田委員、西嶋委員から欠席のご連絡を受けております。

はじめに、協議会の会長であります岩谷<sup>いわたに</sup>会長に一言ご挨拶をいただきたいと思っております。

(岩谷会長)

令和3年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公私共にご多忙のなか、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

「6次産業化」は、1次産業、2次産業、3次産業が連携することにより、地域資源を活用した新たな事業展開が期待されるもので、本協議会では、こうした地域資源を生かして独自の価値を発信し、地産地消や地域ブランドの確立に向けた取組を実現するため、農業を核とした産業間の連携を強めて、地域全体の産業の活性化を図ることを目標としております。

本日は、農業協同組合、商工会、6次産業化などに取り組む農業者や事業者、金融機関、行政など、様々な立場の方が一堂に会して行う、貴重な会議でありますので、委員の皆様のご忌憚のないご意見を賜りますよう宜しくお願い申し上げ、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 小野)

ありがとうございました。それでは、今後の進行は、岩谷会長にお願いいたします。

(岩谷会長)

それでは、議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

(事務局 小野)

議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」ご説明申し上げます。

横置きの議案第1号説明資料の1枚目とホッチキス留めをしております参考資料1の「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略」をあわせてご覧ください。

はじめに、「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略」、いわゆる市町村戦略について簡単にご説明申し上げます。

市町村戦略の1ページ中段に記載してありますが、市町村戦略は、国内だけでなく、国際的に産地間競争が激しくなっている背景を踏まえ、「地域資源を生かした独自の価値を発信していく取組」と、安全で良質な農畜産物等を安定的に供給し、その競争力をさらに高めていくために、「地産地消や地域ブランドの確立に向けた取組」といった目標を具体的に実現するための方策を明確にし、農業を核として産業間での連携を強め、地域全体の活性化を図ることを目的とした方策を示すもので、平成30年度に開催した本協議会を経て、平成31年3月に策定しております。

次に、市町村戦略の2ページになりますが、市町村戦略の計画期間は、令和元年度から5年間の計画であります。

市町村戦略の推進体制と進行管理として、市町村戦略を確実に推進するため、毎年度、これは、例年3月に開催する本協議会においてであります、実施状況を検証し、必要に応じて内容を見直すことでより実効性を高め、期間内に成果目標を確実に達成することを目指すこととなっております。

次に、幕別町の重点を図るべき農畜産物として、市町村戦略の7ページから8ページに記載してありますが、7ページ上段から、和稔じょ、インカのめざめ、ゆり根、8ページの有機JAS認定農産物、十勝ロイヤル・マンガリツツア豚、どろぶた、シュベーパービッシュ・ハル豚の7品目を定めております。

現状と課題を踏まえた6次産業化等の推進方策については、市町村戦略の9ページから10ページに記載してありますが、人材育成や6次産業化・農商工連携の促進、地産地消の推進、食農教育・食育活動の推進、そして、販路の拡大、地域ぐるみの新商品開発プロジェクト、有機JAS認証農産物及び加工品の7つの方策を市町村戦略に掲げております。

次に、6次産業化等の成果目標について、検証の結果をご説明申し上げます。

横置きの議案第1号説明資料の1枚目をご覧ください。

はじめに、(1)グリーンツーリズム施設等の交流人口と観光プランについてですが、

①年間交流人口は、人数の把握が出来る観光施設として、道の駅・忠類、アルコ236、ナウマン象記念館の令和2年度の入込客数を集計しております。令和2年度実績は、令和元年度実績や令和2年度の目標値を大きく下回っておりますが、これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光施設の入込客数が大きく減少したことが原因であります。

また、②農泊（ファームトリップ）を受け入れする農家戸数についてであります。令和3年度実績が0戸となっておりますが、これも、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「まくべつ稔りの里」が実施する農村ホームステイ事業が令和2年度に続き、2年連続で中止となったためであります。

③の観光プランの累計件数についても、前年度実績と同様に5件と目標値を下回っている状況であります。

次に、(2)新商品開発取組事業所等の件数ですが、令和3年度実績は5件と、前年度実績から1件増加しております。まだ、目標値には達していませんが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、新商品開発に取り組む意欲的な事業所等は着実に増えていると思われれます。2枚めくっていただきますと、参考資料として特産品研究開発事業補助金の事業概要等をまとめた資料をお配りしております。裏面になりますが、事業の活用事例として、平成28年度の制度拡充後、計5件、4団体の事業が、特産品研究開発事業補助金の交付決定を受けております。No.1の(株)大樹農社のクレッシェンツァタイプチーズ、No.2の北王農林(株)のアスパラの農産物残渣を有効活用し、粉末化した野菜茶、No.4の(株)エルパソのシュベービッシュ・どろぶたの缶詰、そして今年度に1件補助決定を受けましたNo.5の(有)田口畜産のたぐちさんちののむヨーグルトであります。

今後も新たな特産品の開発及び販売を促進し、これらの情報発信をすることで新商品を開発する事業所や経営体を支援していくものであります。

議案説明資料の2ページをご覧ください。

(3)加工施設等の新設件数と一般労働者の雇用創出数についてですが、

令和元年度に国の「食料産業・6次産業化交付金」を活用し、有限会社ベルセゾンファームが有機JAS認証農産物を使用した加工施設を整備しておりますが、その後は新たに加工施設等の新設はなく、引き続き、情報収集の強化を図り、企業誘致の実現と既存企業の育成支援に努めるとしております。

また、一般労働者の雇用創出については、一部の加工品の製造を令和2年度から開始しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、本格的に稼働していないため、新たな雇用の創出についてはなく、いずれも目標を達成することができませんでした。

次に、(4)総合化事業計画の認定件数につきましては、令和3年度に新たに相談を受けていましたが、事業の進捗が遅れており、計画作成までには至らず、目標の5件は達成できませんでした。

(5)の一つ目の◎重点を図るべき農畜産物の作付面積につきましては、各年度の目標は設定しておりませんが、和稔じよは、横ばい傾向で、インカのめざめは、JA幕別町において、令和元年度から加工品の製造を開始したことから、平成30年度の作付面積と比較して増加傾向となっております。

二つ目の◎有機JAS認証農産物の作付面積で加工品群の原材料となる分の面積につきましても、各年度の目標は設定しておりませんが、先程ご説明したベルセゾンファームの加工施設で一部の加工品の製造を令和2年度から開始しており、④ミニトマトの作付面積が目標値を上回っております。その他の加工品についても、令和4年12月を目途に開発を進めており、①馬鈴薯、②豆類、③トマトの目標達成に向け、引き続き取り組んでいくこととしております。

なお、参考資料として2枚めくっていただきますと、横置きの資料で、有限会社ベルセゾンファームの食料産業・6次産業化交付金に係る実施状況報告書より、加工品9品目の開発までの進捗状況を掲載しております。まず、①マスタード、②マヨネーズ風調味料、⑨トマトジュースについては、すでに令和3年8月に開発を完了しております。また、③ドレッシングから⑥ピクルスまでの4品目については、下の表の事業実施主体の点検結果及び評価に記載しておりますが、新型コロナウイルスの影響で営業活動が思うように進めることが困難な状況で、事業計画に遅れが出ておりますが、令和4年12月を目途に開発を完了する予定で進めております。なお、⑦蒸し豆については、レトルト殺菌釜の調整が難しく専門家に依頼をして開発を行う予定であるのと、⑧ソイミルクジャムについては、他の商品の開発の遅れでまだ未開発となっており、令和5年12月を目途に開発を完了する予定で進めております。

次に、下の表の令和2年度実績に係る事業実施状況の点検結果及び評価といたしまして、北海道については、「新型コロナウイルスの影響など、当初想定していない状況もあるため、今後、販売と開発・製造体制に積極的に取り組み、早期の事業目標達成に向

けて取り組んでもらいたい」、農政事務所については、「現状を把握し、目標達成に向けて順調でないようであれば6次産業化プランナー等を紹介されたい」と評価しているところであります。

本協議会においても、毎年、成果目標の点検及び評価を行うとしておりますが、事務局としては、北海道の評価と同様に、早期の事業目標達成に向けて取り組むこととして評価をしたいと考えております。

以上で「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」の説明とさせていただきます。

よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

(岩谷会長)

ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等はありませんか。

(岩谷会長)

質疑がないようですので、議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(岩谷会長)

異議がないようですので、議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」は、原案のとおり決定いたしました。

(岩谷会長)

次に、「3 その他」であります。事務局から何かありますか。

(事務局 小野)

本協議会の構成員の皆様の中で、本年4月1日付け人事異動により委員の変更がある場合は、在任期間までの間、引き続き、後任の方に協議会委員として委嘱させていただきたいと考えておりますが、承諾書の送付や委嘱状の交付日程など改めてご連絡させていただきます。

また、令和4年度は、農商工等連携事業計画の認定の動きも見られますことから、年度内に2回、協議会の開催を予定しておりますので、引き続き、宜しく願いいたします。

以上となります。

(岩谷会長)

皆様方から何かございませんでしょうか。



(鈴木委員)

商品紹介をさせていただきたい。令和3年度から、「きたロツソ」という新品種のインゲン豆を作付し始めた。「きたロツソ」の特徴としては、色流れがしづらく、歩留が高い。平均収量はおおよそ3俵/10aであるが、令和3年産はおおよそ4俵/10aの収量を確保できた。作付実績としては、令和3年度はおおよそ30haであった。今後は作付拡大していきたいところであるが、新品種であるため、種子の整理がついておらず、令和4年産も横ばいの予定である。販路が拡大され、需要が高まって行けば、さらに従来品種からの作付転換を進めていきたい。今後は認知度を高めるため、お菓子だけでなく様々な用途に拡大していく予定であり、今後重点農作物として、検討を進めていただくようお願いしたい。

(香田委員)

「きたロツソ」の産地はほかにもあるのか。

(鈴木委員)

10ha以上の規模で作付けしている地域はない。新品種であるため、他の地域は種子の確保ができず作付拡大できない事が予測されるので、当分の間は、幕別町農業協同組合の管轄が「きたロツソ」の産地としてPRする事が可能と考える。

(藤原委員)

一糸(いと)とコラボした商品は1月限定での販売とのことだが、現在購入できるところはあるか。

(鈴木委員)

令和3年産の収穫物しかないのですが、販路拡大に向けての動きはこれからではあるが、一糸では、1月限定で販売した商品が好評だったことから、2月以降も販売を継続していると聞いている。生豆については、幕別町農業協同組合の販売委託先である木川商店で購入する事ができる。

(岩谷会長)

従来の品種と比べて、粒の大きさに違いはあるか。

(鈴木委員)

一回り小さいため、サラダに使用する際に食べやすい品種である。

(下山副会長)

現在は、6次産業化の取組を1次産業が主体となって進めているが、加工技術や販

路拡大などの面を見たときには、2次産業、3次産業を含めて連携を進めていくのがよいと思う。本協議会の委員も1次産業の方が多いが、委員構成の変更など是可以のか。

(香田委員)

幕別町は農業が盛んなこともあり、1次産業が主体となって進めている。また、町内で加工から販売まで行えるのがよいが、今は加工できる施設が少ないという課題がある。次年度以降、加工施設の建設予定もあることから、連携しながら町内で完結できるような6次産業ができることを期待したい。また、委員構成も現在の状態が固定と言うわけではないので、今後、協力いただける2次産業、3次産業の方がいれば委員構成の変更をすることができる。

(岩谷会長)

皆様方から何かございませんでしょうか。

(岩谷会長)

それでは、以上をもちまして、令和3年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。